

農業セミナー「酪農経営の発展に向けた経営者マインドの醸成～儲けるために何をすべきか～」を実施しました

令和2年3月6日（金）、JA湘南平塚営農経済センター3階会議室にて農業セミナーを開催しました。講師はかながわ農業アカデミー講師、かながわ農業版MBA研修講師でお馴染みの食と農研究所代表、加藤寛昭先生をお招きし、テーマは「酪農経営の発展に向けた経営者マインドの醸成～儲けるために何をすべきか～」に設定し、若手酪農家を中心に地域の酪農家を募集したところ、10名の出席がありました。セミナー前半は講義形式で、後半はワークショップ形式という構成で、2時間と短時間でしたが充実した研修内容となりました。

講義では、経営者の考え方と経営目標の設定の仕方について学びました。経営発展のために一番必要なのは、「経営者の想い」であり、出席の酪農家の方たちに「何のために酪農をやっているか」を再確認してもらいながら、「日々の農作業も大切ですが、それを右から左にこなしているだけでは発展はありません」「経営を発展させるためには、5年後、10年後にはこういう酪農経営でありたいという姿を思い描くことが重要です」「その10年後の姿から逆算して、3年後、5年後、10年後の目標を設定する」「これが事業計画となり、目標数値を設定することでより具体的な計画になっていきます」という流れをたいへん分かりやすく学べる構成でした。

実際に「儲かっている」北海道と栃木県の優良経営事例が紹介され、「この経営者は何をどのように解決したら成功に至ったのか」という観点から学び取ることで、出席者からは参考になったとの声が聞かれました。



目標実現シートの作成支援



目標実現シートの発表と質疑応答

続くワークショップでは、出席の酪農家の方たちに5年後10年後の自分の経営のビジョンを描いてもらい、現在アメリカ大リーグで活躍中の大谷翔平選手が高校1年生のときに実際に取り組んだという「目標実現シート」を作成してもらいました。作成した目標実現シートを若手酪農家中心に発表してもらい、質疑応答を行いました。出席者は自牧場と他牧場との違いを認識するとともに、自牧場の経営について本当にやりたいことは何か、そのために何をすべきか、何から取り組むべきかについて、ワークショップである程度明確になったようで、「まるで人生設計のようだ」との声も聞かれました。

当所では、県内の酪農経営がより発展するために、こうした経営感覚を身に付けるような研修を準備し引き続き開催していくとともに、出席者のフォローアップをしてまいります。

備考

開始にあたっては、新型コロナウイルス対策のため、広い会議室を使い、マスク着用、手指消毒等を実施しました。